

△くまの議会だより



主な内容

- 令和3年度決算を認定！
- スバリ町政を問う！
- 活躍する地域団体

シルバーリハビリ体操で 延ばそう健康寿命！

(熊野町シルバーリハビリ体操指導士会のみなさん)

第
124
号
2022.11.1

令和4年
9月定例会

筆の都くまの

熊野町観光大使
ふてりん



熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください。

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中瀬一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <https://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail: glkai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

令和3年度決算を認定！

一般会計総額104億9,007万円

ふるさと納税

熊野町を応援したい方からの寄附金。返礼品は約30事業者260品目を数える



▲返礼品のジビエ肉
(7,992万円)

防災施設整備事業

西部地域の防災拠点として旧くまの・みらい交流館の敷地内へ新館を増設した



▲熊野西防災交流センター新館
(1億794万円)

環境衛生事業

小型合併浄化槽を設置する者に対し補助金を交付する



▲浄化槽
(1,727万円)

主な質疑



Q. 前年より寄附額が40%増額している。リピーター数を増やし、更に納税額アップの努力をお願いしたい。

A. リピーター率は約5%弱だが前年度の寄附者にアンケートを実施し意見をいただいている。ふるさと納税サイトの掲載方法も工夫をし、更なる納税額アップに努める。

Q. 西部地域の避難者の受け入れ体制はどのようなになっているか。

A. 西部地域の避難所は、西防災交流センター(旧：くまの・みらい交流館)、第三小学校、第四小学校、町民体育館、西ふれあい館(旧：西部地域健康センター)の5ヶ所ある。地域防災計画では2,120人の避難者の受け入れが可能である。

Q. 浄化槽を設置されていない住宅から生活排水が流れ出て、水質保全が保たれていない場所がある。対策は。

A. 既存の住宅には、浄化槽の設置を強制できないが、浄化槽設置について周知を行う。

Q. 下水道が通っていない地区の世帯数と、その中での浄化槽設置の件数は。

A. 推計で1,000世帯。その中での合併浄化槽は586件、単独浄化槽は180件となっている。

一般介護予防事業

「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」を中心に感染対策を講じ事業の継続を行った



▲シルバーリハビリ体操の様子
(1,514万円)

保育所等運営一般事務事業・保育所等運営事業

町内3つの認可保育所及び3つの認定こども園での保育により、子育て支援を行い、健全育成を図った



▲屋外で遊ぶ園児たち
(8億2,271万円)

ハザードマップ作成事業

町内全域のハザードマップを作成し、町のホームページで公開するとともに、町内全戸に配布した



(374万円)

主な質疑



Q. 今回初めて1級指導士5人を養成されたと聞いた。2級の方27人、3級の方57人を含め、どのような活動をしているのか。

A. 3級の方は地域で体操の指導、2級の方は地域での指導と3級の取りまとめ、1級の方は3級指導士の養成と2級、3級の取りまとめを行っていただいている。

Q. 他県で通園バスでの熱中症死亡事故が起こった。町内の通園バス指導はどのようにされたか。

A. すぐに注意喚起を行った。また、国からの通知により緊急安全点検を実施している。

Q. 入所者数は、定員489人に対し524人と多い。これ以上増えると待機児童が出るのでは。対策を考えているか。

A. 現在入所定員を超えての運営だが、2割程度の増員までは受け入れは可能と判断している。各園と調整を行い、保育士の確保をお願いしていく。

Q. 外国人向けのハザードマップ作成はできているか。

A. 現在はできていないが、防災アプリ『避難所へGO!』は多言語に対応しているため、そちらを活用していただきたい。

(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)

9月定例会 こんなこと

令和4年度 一般会計補正予算（2号）を可決
歳入・歳出とも4億3,224万円の増額 総額99億6,582万円に

注目補正事業をピックアップ！

狂犬病予防事業 15万円

マイクロチップリーダー購入費



Q. マイクロチップの装着方法は。
A. 獣医が動物の首に埋め込む。それを読み取る機械を購入。

老人福祉一般事業 880万円

シルバー人材センターの旧東公民館への移転に伴う改修補助金

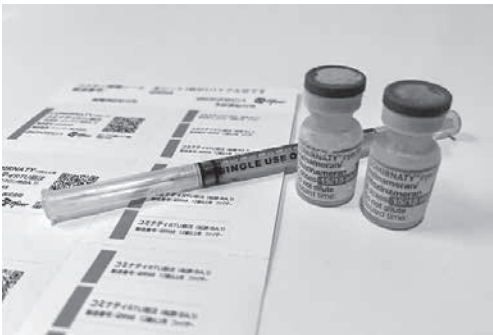


▲旧東公民館

Q. 40年以上前の建物だが、耐震性に問題はないか。
A. 建設農林部とも相談し、事務所としての利用なら問題ないと判断している。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 8,169万円

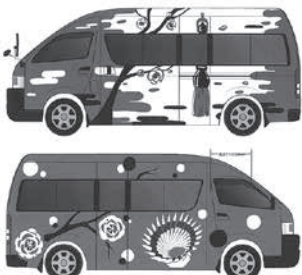
4回目接種の対象者拡大及びオミクロン株対応ワクチン接種に係る経費を計上



▲オミクロン株対応ワクチン

交通輸送対策事業 4,766万円

阿戸線バス運行維持のため広島電鉄株のバス2台を譲り受ける。また、新たにワゴン車2台を購入



▲ワゴン車ラッピングデザイン画

Q. 高齢者の利用が見込まれる。その対応はしているか。
A. ワゴン車には手すりが付く。乗降の際、ステップが出てくるタイプを考えている。

（各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています）

が決まりました！



報告2件・議案10件、認定2件の中から3件をピックアップ

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による事業

コロナ禍や原油価格高騰対策として支援金を支給します。

路線バス事業者へ	240万円
保育施設等へ	302万円
介護保険サービス事業者へ	596万円
福祉サービス事業者へ	137万円
運送事業者等へ	1,876万円

行政手続デジタル化事業として「書かない窓口」
実現のため総合窓口支援システム導入
205万円（事業総額4,270万円）



教育委員会委員の任命に同意しました

本年9月30日をもって任期が満了する2人の委員について、適任であると同意した。

- 佛圓 悦子さん（再任）
○ 佛圓 弘修さん（再任）

【任期】 令和4年10月1日～令和8年9月30日（4年間）

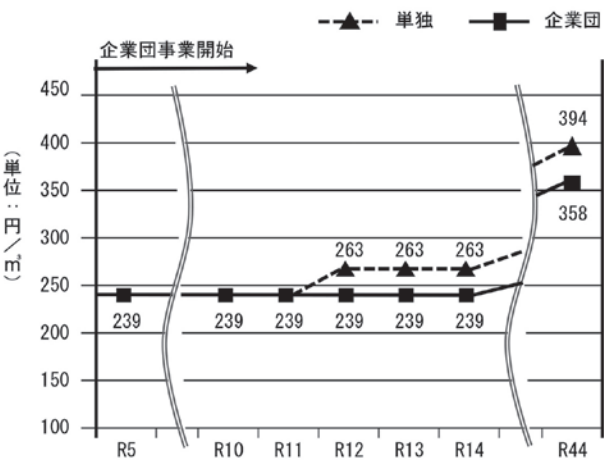
※教育委員会委員とは…
教育委員会の構成員。人格高潔で、教育、文化に関する見識ある者を地方公共団体の長が議会の同意を得て任命する。任期は4年。

「広島県水道広域連合企業団の設立及び規約の制定について」を可決

町単独事業での水道事業は、将来的に経営環境の悪化が見込まれている。こうした状況を踏まえ、広島県と県内14市町による「広島県水道広域連合企業団」を設立運営していく。コスト縮減等の効果により水道料金の引き上げ幅抑制につながると判断した。



水道料金の見通し（町単独経営との比較）





中島 数宜 議員

Q 送水管トンネル工事の影響（井戸枯れ）は

A 町 長

県と連携を強化し、生活に支障をきたさないよう、対応していく。

【A2】 消火栓設置については、上水道による補償となった場合は関係部署と協議を行い、必要

全面舗装を県に対し要請してほしい。

【Q2】 仮設水道管により給水している。本格工事の時には消化栓の設置と、様々な工事の影響で路面がデコボコになって

いる。

【A1】 トンネル工事が平谷地区の地中に近づいた昨年の秋頃から、徐々に増加していることは承知しており、本町としても重く受け止めている。

【Q1】 昨年の10月頃から平谷三丁目等で井戸枯れが発生している。今年8月末で52ヶ所の井戸が枯れている。町はこの状況をどの程度認識しているか。



▲仮設給水

様々な水の供給方法について協議する。

【Q3】 水道水は、給水区域外は給水できないとのことである。給水区域外には30余りの世帯がある。給水区域の見直しと、新たに配水池を設置する等水道水でも給水ができるよう県に要望してほしい。



▲枯れ果てた水路

簡所に設置することになる。また、舗装復旧に関しては、道路管理者としてしっかり協議をしていく。

Q 平谷中央線等、町道認定後の処理は

A 建設農林部長

本年7月より県道矢野安浦線から町道平谷中央線として管理している。

【A2】 更新許可申請、占用料の徴収は既に広島県により処理されている。熊野町では次年度から許可申請、占用料の徴収事務を行うことにな

【Q2】 令和4年度の占用許可の更新手続き、占用料の支払いは既に広島県と処理が終わっていると思うが、移管後の処理はどのようになっているか。

【A1】 関連事業者は6者で大部分が電柱やケーブル、地下埋設管である。これらの物件に関する占用料は全体で40万円程度と聞いている。

【Q1】 占用している事業者へ変更手続きの提示と占用物件の種類、数量、占用料の確認はできているか。



▲町道平谷中央線

【Q4】 小規模団地の造成時には、道路外へ建柱するよう業者指導を願う。

【A3】 管理者が変更となる場合の占用料収入の帰属は道路法の規定により変更前の管理者の収入となる旨が規定されており、町への歳入処理は困難である。

【Q3】 年間占用料40万円の9か月分、約30万円は町へ歳入処理をすべきと思うが。

ズバリ町政を問う！

タイトル：熊野中学校3年 女夫池 香乃さん

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は1人答弁含め、60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質 問 者	質 問 事 項
7	中 島 数 宜 議員	1. 送水管トンネル工事の影響（井戸枯れ）は 2. 平谷中央線等、町道認定後の処理は
8	時 光 良 造 議員	1. 人口減少に歯止めを。空き家バンク制度を 2. 利便性の高い阿戸線運行を
9	水 原 耕 一 議員	1. 住民主体のまちづくりシビックプライドの醸成の進め方は 2. 自治会活動の今後の課題の改善策は
10	沖 田 ゆかり 議員	1. 安心して行える町主催の一斉清掃を 2. 災害弱者への取り組みの強化を
11	光 本 一 也 議員 竹 爪 憲 吾 議員	1. 障害の特性に応じた情報コミュニケーション条例の早期制定を 2. 子育て支援と少子化対策の取り組みは
12	荒 瀧 穂 積 議員	1. デジタル化はどこまで伸展しているか 2. 4年前の豪雨時「避難指示」は町民に正しく伝わっていたか
13	片 川 学 議員	1. 高齢者、障がい者等へのごみ出し支援の拡充を 2. 個人情報の漏えいに注視し町政運営を

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ（<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>）から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



時光 良造 議員

Q 人口減少に歯止めを。空き家バンク制度を

A 総務部長

有効な施策であるが、近隣市町の状況を踏まえ慎重に研究したい。

【Q1】「住むならくまの」定住応援支援制度の成果は。

【A1】平成25年度からの9年間で655世帯が活用され、町外から1,016人が転入している。

【Q2】トンネルの無料化や、大型ショッピングモールの進出でミニ開発が行われているが、人口の推移は。

【A2】過去3年間は毎年200人ずつ減少しているが、今年3月末から8月末までは19人の増加で推移している。

【Q3】人口増加で推移している今こそ県内のほとんどの市町と同様に、空き家の活用促進を考える中で、空き家等対策計画を策定し、空き家バンク制度を早急に取

り組むべきだと思うが。

【A3】県では、中古住宅の流通促進に向けた検討チームを立ち上げ、町も定期的に検討会議に参加し、課題の分析や施策検討を進めているところである。

【Q4】高額な新築を購入する人ばかりではない。空き家バンク制度を構築し、空き家の家財道具の搬出、機能回復、設備改善等に必要な助成金制度により、子育て世代・U・J・ターンの起業を志す人々を呼び寄せるチャンスである。

【A4】定住支援を検討する上で有効な施策と思うが、近隣市町の状況を踏まえ研究したい。



Q 利便性の高い阿戸線運行を

A 住民生活部長

利用者や沿線住民の意見を聞きながら、持続可能な公共交通を目指したい。



▲小型バス

【Q1】赤字バス路線の補助金に関して住民アンケート調査の回答は。

【A1】財政支出を増やしても、誰もが利用しやすい公共交通の充実に努めるべきとの回答が多かった。

【Q2】阿戸線の新たな交通体系で、昼間の便も営業所まで行くべきだと思うが。

【A2】萩原下までとすることで運行経費の減少や、運行時間の短縮により阿戸線の延命化につながる。

【Q3】東部地区住民の役場での事務手続きのために、せめて役場までは運行すべきと思うが。

【A3】萩原下から役場までの渋滞が、ダイヤを乱

す懸念があり、萩原下までとした。

【Q4】バスが行かないのであれば、東防災交流センターの行政窓口の充実が必要である。

【A4】行政窓口の強化は考えておらず、窓口に来なくても手続きができるデジタルトランスフォーメーションの導入を進めている。

【Q5】昼間は役場まで行っても渋滞はなく、運行経費も変わらない。来年2月までの実証運行後は役場までの運行形態にすべきである。

【A5】実証運転の結果、問題点があれば協議し、変更することは可能である。



水原 耕一 議員

Q 住民主体のまちづくりシビックプライドの醸成の進め方は

A 町長

町民の方がまちづくりを自分達の事と考え行動していく取り組みを推進していく。

【Q1】シビックプライドとは郷土愛と言った言葉に近いが、ただ町が好きだけでなく自分自身が関わって町を良くしていこうとする心だ。そういったシビックプライドを持って行動してくれる方がいるが、町は活性化のためどう取り組むのか。

【A1】筆の里工房の北側に体験交流施設を整備する予定である。文化芸術活動、創作活動をもとに利用をいたたく。町の魅力を再発見し、町内外に発信していき人々を育む場として整備する。中長期的な視点でそのような人を育み活性化を図りたい。

【Q2】パブリックコメントは住民に広く町の施策を公表し意見を出してもらうことを目的にしているが、あまり知ら

れていない。周知方法を考えていくべきだと思うが。

【A2】今はホームページ、広報くまのへの掲載と役場、町民会館、東西の防災交流センターに意見箱を置いていくがほとんど意見がない状況である。LINE等による周知方法を考えていく。

【Q3】民間にお願いして町おこしを考え実行していく部署を作っている市町村があるが、参考にできないか。

【A3】「地域おこし協力隊」の制度の活用を視野に入れてまちづくりを考えていく。



Q 自治会活動の今後の課題の改善策は

A 町長

自治会連合会との連携を図り課題解決に取り組む。

【Q1】自治会加入率の全国平均は70%といわれているが、本町は。

【A1】令和4年4月現在で78%だが10年前は83%であった。

【Q2】隣保班長の負担軽減のため月1回の広報誌の配布を郵送にするか、配らなくてもいいネット会員を増やす取り組みはできないか。

【A2】他の自治体では新聞折り込みや委託による全戸配布を行っているところもある。自治会連合会と協議しながら検討していく。

【Q3】広島市で企業が地域ボランティアに参加してもらったための新しい制度を始めた。本町も考えられないか。



【A3】地域貢献活動に積極的な企業等を認定し応援する制度と伺っている。今後、制度を研究していく。

【Q4】最近の異常な暑さを考えると、9月初旬の町内一斉清掃の川掃除は危険である。時期をずらすか廃止を含めて考え直すときにきているのではないか。

【A4】地球温暖化により9月初旬でも熱中症を危惧する状況であることは承知している。町内一斉清掃のあり方を主催者である熊野町公衆衛生推進協議会にご審議いただく。



沖田 ゆかり 議員

Q 安心して行える町主催の一斉清掃を

A 住民生活部長

一斉清掃は公衆衛生推進協議会（公衛協）が行っているため、町で主催することは考えていない。

【Q1】 町内一斉清掃はコロナ感染予防対策のため令和2年度から中止になっているが、中止の期間に町として対応策を講じているか。

【A1】 対応策は用意していないが、自主的な地域清掃に物品提供などの支援を行っている。

【Q2】 河川浚渫の実施状況は。

【A2】 県管理河川は計画的に実施されており、町管理河川についても緊急性の高いところから順次行っている。

【Q3】 水流の大きい県管理の河川清掃活動については業者で対応するべきではないか。

【A3】 住民がするのか工事

業者に頼むのか検討する。

【Q4】

熊野町では一斉清掃の主催は公衛協であるが府中町、海田町、坂町では町と公衛協の共同主催で実施されており、町主催の道路や水路の清掃と公衛協主催の河川清掃に分けている。住民のコミュニティ確立のため防災上必要な取り組みである清掃活動を見直す時期がきているのではないか。

【A4】 近隣市町の状況を調査する。



▲町内一斉清掃の様子

Q 災害弱者への取り組みの強化を

A 町 長

災害による逃げ遅れの死亡者ゼロを目標に、災害に強いまちづくりを進めている。



【Q1】 障がい者への情報伝達の取り組みは。

【A1】 「防災情報FAXサービス」や「登録制防災メール」は聴覚障がいの方に確実に避難情報を届けることができる有効な伝達方法である。

【Q2】 防災情報FAXサービスに事前登録されている人数は。

【A2】 令和2年に聴覚障がい者86名に案内し、そのうち15名に利用いただいている。

【Q3】 視覚障がい者の人数と戸別受信機の設置をしている人数は。

【A3】 人数は73名と把握しているが、設置数は把握できていない。

【Q5】 災害危険区域の要支援者の個別避難計画は作成されているのか。

【A5】 新宮、初神地区を啓発しているが今年度実績としては1件も出ていない。



【Q4】 重度心身障がい者の家族の方は避難所には行かれないと諦めている方が多く、今後は福祉避難所として利用できる施設を増やしていただきたいが。

【A4】 障がいの方も対応できるように今後検討していく。

Q 障害の特性に応じた情報コミュニケーション条例の早期制定を



光本 一也 議員

A 町 長

先進自治体の取り組みを参考に、研究する。

【Q1】 「熊野町のちをつなぐ手話言語条例」制定から3年が経とうとする。制定後の取り組みを問う。

【A1】 タブレットを購入し役場窓口で手話通訳できる環境を整えた。

また、手話への理解と手話の普及を図るため、リーフレット、チラシの作成や地域住民グループ等対象の手話出前講座、町職員対象の手話研修を実施した。町広報では、毎月2つの手話単語をイラスト付きで紹介している。

【Q2】 今後の取り組みは。

【A2】 引き続き、ろうあ連盟、手話通訳者、手話サークルの皆さんの意見をいただきながら手話への理解と普及に努める。

【Q3】

本町の観光PR動画や筆の里工房で見られるPR動画には手話通訳の映像が入っていないため、耳の聞こえない方には内容が分からない。

【A3】 今後、町が制作する観光PRや行政情報等のビデオ動画には、手話通訳の映像を入れるよう要望する。

【A3】 今後は、字幕表示や手話通訳の映像取り込みなど、ろう者へ配慮した動画制作に努める。

手話単語【秋】

両手の五指を開き、前方から風が吹いてくるように2回、自分の側に動かす。



Q 子育て支援と少子化対策の取り組みは

A 町 長

ネウボラ事業を中心に、くまの・こども夢プラザを拠点として、支援している。

【Q1】

ネウボラ事業の現状は。

【A1】 マタニティ面談に始まり、赤ちゃん訪問、乳児・1歳半児・3歳児健診など計7回以上の切れ目ない支援を心掛けています。

【Q2】

くまの・こども夢プラザの事業内容及び利用状況は。

【A2】 月々金曜日は多目的室を開放し、保育士・保健師が保護者同士の交流を促し、不安や悩みに助言を行う。また、様々な講座の開催や相談機会を提供し、子育て世代を支援している。

平成30年度、令和元年度は約4,000組、コロナ後の令和2・3年度は約2,500組の利用があり、子育て世代の居場所の一つとして定着している。

【Q3】

少子化対策につながる子育て支援の具体策は。

【A3】 乳幼児医療費助成制度を来年度から対象年齢拡大に向けて準備している。

【Q4】

子育て支援以外の少子化対策は。

【A4】 呉市などを中心とした市町が協同で「結婚支援事業」を実施し、本町に住み子どもを産み、育てていく世代を増やしたい。

【Q5】

子育て世代を呼び込むよう、支援策をまとめたパンフレットを配布してはどうか。

【A5】 子育てしやすい町を積極的にPRする内容としていきたい。



荒瀬 穂積 議員

Q デジタル化はどこまで伸展しているか

A 町 長

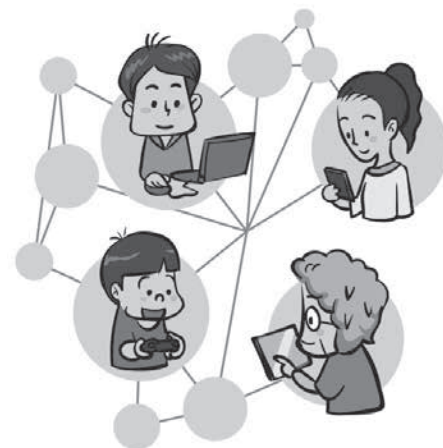
昨年、DX推進計画を策定しデジタルトランスフォーメーションの推進に取り組んでいる。

【Q1】デジタル化で町はどのように変わるのか。

【A1】DX推進計画では4つの基本方針を掲げ、職員の働き方改革や職場環境改革に取り組む。4つの基本方針

- ① 行政サービスの向上
- ② 行政運営の効率化
- ③ 地域課題の解決
- ④ 情報通信の基盤整備

【Q2】DX推進アドバイザーの登用状況は。



【A3】デジタル化推進に向けて活躍いただける人材を探す。

【Q3】いい人材はいないのか。

【A2】本年度、予算措置したが、派遣協定締結直前に先方が辞退された。県が実施する情報人材派遣事業の活用について相談したが、人員1名で他市へ決定済みであった。

Q 4年前の豪雨時「避難指示」は町民に正しく伝わっていたか

A 町 長

避難情報は警戒レベルなどが導入され住民に分かりやすくなった。

【Q1】(出典)砂防学会出版の「豪雨体験談」を読んだ。

(体験談)大原ハイツ住民「6時40分頃帰宅。山の様子がおかしい。8時頃泥水が出た。(第1回目の土石流で団地出入口寸断)避難始めたが道が渋滞し右脇道へ。間一髪8時20分頃の第2回目の土石流発生。車が流され角の家につぶかり炎上。家は全焼したが住民は逃げられ命は助かる。」

7時40分避難指示発令時は、災害が起こる状況にあった。(平成29年に)町内全戸配布されたハザードマップによると避難指示は「ただちに避難」(平成30年3月に)第4小学校区だけに配布したもので、避難を止め命を守れ」と変わっている。これをどう考えているのか。

【A1】避難が優先だが、状況によっては、垂直避難も必要。当時は周知が十分でなかった。

【Q2】避難指示発令後、避難中に亡くなられた方もおり、それよりも「避難を止め命を守れ」という告知ができなかったか。

【A2】国は警戒レベル5を緊急安全確保に整え、分かりやすくした。

【Q3】今のハザードマップでは1,000年に一度の浸水想定が表示されたが何か根拠があるのか。

【A3】県からの想定が公表されたため。

【Q4】防災計画は機関委任事務か自治事務か。

【A4】自治事務である。



片川 学 議員

Q 高齢者、障がい者等へのごみ出し支援の拡充を

A 町 長

先進事例を参考にしながら検討する。

【Q1】令和元年、令和3年と2回も一般質問を行われているが、要望があったにも関わらずニーズ調査をしていないのがおかしい。

【A1】今年度、高齢者支援課で実施する次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための65歳以上を対象としたアンケート調査の中で、「ごみ出し」の項目を検討している。

【Q2】多様な生活形態の家庭が増加しつつある今、有償でもサービスを希望する世帯も併せて、アンケートの実施をするべきではないか。

【A2】今すぐアンケート調査の計画がない。

【Q3】「ほっとくま」の大型

【Q4】中学生を含む地域の支援、コミュニティスクールの取り組みとして実現に向けた協議を進めるとの答弁があったが教育長の考えは。

【A3】ケアマネ会議等で情報共有を行っている。

【Q4】地域学校協働活動の中で、子ども達が地域貢献をしていくことは大切なことである。可能な限り教育委員会として協力し、取り組みを進めていきたい。

【Q5】野焼きの問題がある、刈草の収集も併せて考慮するべきではないか。

【A5】財政的な問題もあるので総合的に勘案しながら対応したい。

Q 個人情報の漏えいに注視し町政運営を

A 総務部長

公務員としての守秘義務を基本とした上で、職員への意識啓発を行っていく。



【Q1】個人情報の基本的な取り扱い。役場が行う業務では必要最小限の職員が必要情報を取り扱うことを基本としている。同じ役場内、職員間であっても、業務上必要がなければみだりに個人情報提供することがないよう、職員は常に意識しながら業務を行っている。

【Q2】我々議員も痛切に言い聞かせておかなければならないが、私自身も個人情報の漏えいは肌で感じたこともあり、



コロナ禍の昨今、緩和措置も進む中で広島県にて情報が止められているはずの、感染者の個人情報がどなたかの口から洩れているとしたら大きな問題だとおもいます。

【A2】個人情報漏えいという事は、信用失墜行為となり行政の運営に多大な影響を及ぼすことになる。守秘義務の徹底については新人職員への研修や役場内での研修において引き続き取り組んでいく。

令和4年度活動計画を策定

産業建設委員会

7月6日に産業建設委員会を開催し、「令和3年度主要事業の実績」、「令和4年度主要事業計画」について説明を受け、質疑を行いました。

○主な質疑

Q. 町道呉萩線萩原工区は県道付近まで改良することだが、熊野東中側について拡張の計画はあるのか。

A. 呉萩工区は、主に熊野東中の通学路として拡張要望があった中で進めている事業である。物件を空けてまで拡張するのはハードルが高い。未利用地や農地など土地所有者の協力をいただけたところから進めている。

Q. 西ふれあい館の裏の道の草が生い茂っている。以前は県営団地の住民が法面の草刈をしていた。森づくり事業を活用して草刈できないものか。

A. 一部川角の方が地元で草刈をしていた。道路管理としては、一部支障が出ている部分は1m程度刈ることもある。今回、森づくり事業として考えているのは、草刈りというよりも伐採等である。草刈りであれば、事業対象外なので、状況を見ながら考えていきたい。

Q. 第三小学校の体育館の屋根がかなりサビており、早期改修を要望してきた。優先順位が東中学校が先で、その後に改修すると話していたが、まだ何もされていない。

A. 学校施設については、教育委員会と協議する。

○今年度の活動計画

次の重点調査項目を中心に調査を重ね、最終的に町側へ政策提言を行うことを目標に委員会を運営していきます。

県道矢野安浦線道路改良工事について

県道の整備については、住民生活の安心・安全の確保につながり、また、地域社会の発展に寄与するものであることから、その方向性について調査・研究を行います。



▲慢性的な渋滞を起こしている役場前交差点付近を調査

次の定例会は
12月13日
(火曜日)
開会を予定しています

議会だより題字
小田原正龍さん

あ
と
が
き

秋空が気持ちよく澄みわたる季節となりました。町内全小・中学校では運動会・体育祭が開催されました。制約を受けず、不便なく子どもたちが健やかに成長していつけるまちづくりが町政の重要点であると再認識させてくれます。

今号は、9月の定例会、決算認定、予算審議を中心に紙面を作成しております。今後もイラストを増やし、よりわかりやすく内容をお伝えできるよう努力・工夫して参ります。

福垣内 邦治

～主要事業の実績状況を確認～

総務厚生委員会

7月8日に令和3年度主要事業実績状況並びに、令和4年度主要事業の概要及び課題等について報告を受けるとともに、活動計画の策定と、重点調査項目を決定しました。

○令和4年度の主要事業概要

- 総務部
 - 商工振興事業 ⇒ 地域経済応援クーポン券の発行
 - 観光推進事業 ⇒ インスタグラムによる情報発信
 - 筆の里工房周辺整備事業 ⇒ 基本設計・実施設計業務の円滑な推進
- 住民生活部
 - 個人番号カード事務事業 ⇒ マイナンバーカード普及促進
 - 交通輸送対策事業 ⇒ 地域公共交通計画の策定
- 健康福祉部
 - 地域支援事業 ⇒ 住民主体の介護予防活動の立ち上げ支援
 - 新型コロナウイルスワクチン接種事業
⇒ 町民への接種を円滑に実施等について、今年度も公平な事業を実施するよう要望しました。



▲筆の里工房周辺整備事業は昨年度に引き続き重点調査項目にしました。

○主な活動計画項目

- ①町有財産管理に関する事業 ②筆の里工房周辺整備事業 ③新型コロナウイルス感染予防対策以上の項目を中心に調査・研究を重ね、政策提言を行います。

～主要事業の実績状況を確認～

文教委員会

7月26日に「令和3年度主要事業の実績状況」「令和4年度主要事業の概要及び1学期の状況」について説明を受け、質疑を行いました。

また、令和3年度熊野町標準学力調査結果概要や令和4年度熊野町がんくまプロジェクトの取り組みについて報告を受けました。文教委員会の年間活動計画を策定しました。

○令和4年度活動計画について

- 学校教育（施設、教育環境、その他）
- 社会教育（施設、その他）
- 防災教育（視察）
- 教育委員会との意見交換会の開催
- その他教育関連事項



▲電子黒板とタブレット端末を利用した授業

○令和3年度の主要事業「町立小中学校電子黒板整備事業」について

- Q. 電子黒板は、どのように活用しているのか。**
- A. デジタル教科書の提示や子供たちが制作した作品を提示したりする。また、学習用端末を利用しさまざまな意見を出し合い、それについて学びを共有するなどの活用をしている。

児童生徒の教育環境や社会教育施設をより充実させるため、当委員会では引き続き、協議・要望などの活動をしていきます。



地域で輝ける活動と一緒に始めませんか！

～熊野町シルバーリハビリ体操指導士会～



「腕をゆっくり伸ばして～」
「股関節をしっかりと広げて～」
熊野町では、町民の健康増進と活力ある地域づくりを目的としてシルバーリハビリ体操の普及を進めています。
今回は、熊野町シルバーリハビリ体操指導士会（池田正義会長）の皆さんに活動や課題などについてお話を伺いました。



▲体操指導する池田正義会長

Q 指導士会の紹介をお願いします。

A 私たちの会は、町が認定したシルバーリハビリ体操指導士で組織された会です。ボランティアで地域の高齢者にシルバーリハビリ体操を指導しています。会員は、現在50人（男性11人、女性39人）います。60代から80代までの幅広い年代のメンバーです。

Q 活動内容を詳しく教えてください。



「お尻が浮いたところで姿勢を保持してください」

A 町内3か所の防災交流センターで6つの教室を運営しています。毎週1回1時間、定期的に開いています。老若男女を問わず、『いつでもどこでも1人でもできる体操』なので参加者は年々増加してきており、募集を中止している教室もあります。社会福祉協議会からも体操教室の依頼をたくさんいただいています。現在、38か所のサロンなどで体操を指導しています。開催依頼の声をいただくのが何よりの励みになります。元気いっぱい笑顔とオレンジ色のポロシャツを着て頑張っています。

Q 課題や悩み事などはありますか。

A 体操教室は室内で行っています。新型コロナウイルス感染症予防対策とマスク着用、手指消毒を徹底していますが、やはり心配ですね。

また、指導士の育成も急務です。60代の若い方の参加を待っています。



「腕をゆっくり伸ばして～」

Q 今後の活動などを教えてください。

A これからも高齢化は進み、教室に参加したい方も今以上に多くなると思っています。参加しやすい体操会場をできるだけ多くしたいですね。歩いて通

える会場であればいいですね。



「次はハムストリングスのストレッチです」

Q 町への要望があれば、教えてください。

A 熊野町では、健康づくりや介護予防のボランティア活動に取り組む人にポイントを付与し奨励金を支給する事業が行われています。

シルバーリハビリ体操の参加者もポイント対象になっているため、これが励みとなって体操参加者も年々増えてきています。町には、このポイント事業を継続、発展させてほしいと思います。

取材／中島数宣
光本一也